

企業・団体の社会的価値を明らかに

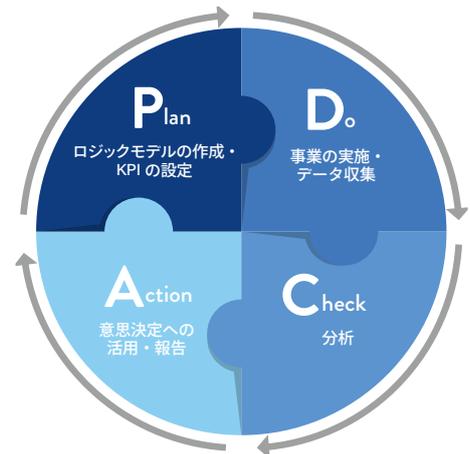
社会的インパクト評価

持続可能な社会の構築に世界的に関心が高まるなか、企業・団体もその姿勢が問われています。人類やこの星が抱える大小様々な社会課題に対し、どのように関わり、改善、解決したか。企業・団体が社会課題解決に向け意図的に行った活動が社会や環境に実際に与えたインパクト（影響）を客観的に評価し、経済的な価値以外の企業・団体の価値を可視化する試みが「社会的インパクト評価」です。従来、企業や団体の価値を定める際は、財務的・定量的（数値で換算可能な要素）な評価を重視してきましたが、社会的インパクト評価では人々の心理に与える影響など定性的（数値で表せない要素）な評価も併せて行い、当該企業・団体が提供する技術、商品、サービス（アウトプット）によって生じた有形無形のポジティブな変化（アウトカム）を捉えます。

インパクト評価によって改善を図り、一層の社会的インパクト創出を目指すことを「社会的インパクトマネジメント」、こうした社会的インパクトのある企業に対し、経済的なリターンのみならず社会的なリターンも期待した投資を「インパクト投資」と言います。最近では、インパクト・ウォッシュ（あたかもインパクトがあるかのように謳うこと）と言われる名ばかりの取り組みを行う企業・団体への投資を避けるためにも、インパクト評価の実施とレポート等の形でその結果を公表することを、インパクト投資の要件のひとつとする提言もなされています。

社会的インパクト評価のプロセス

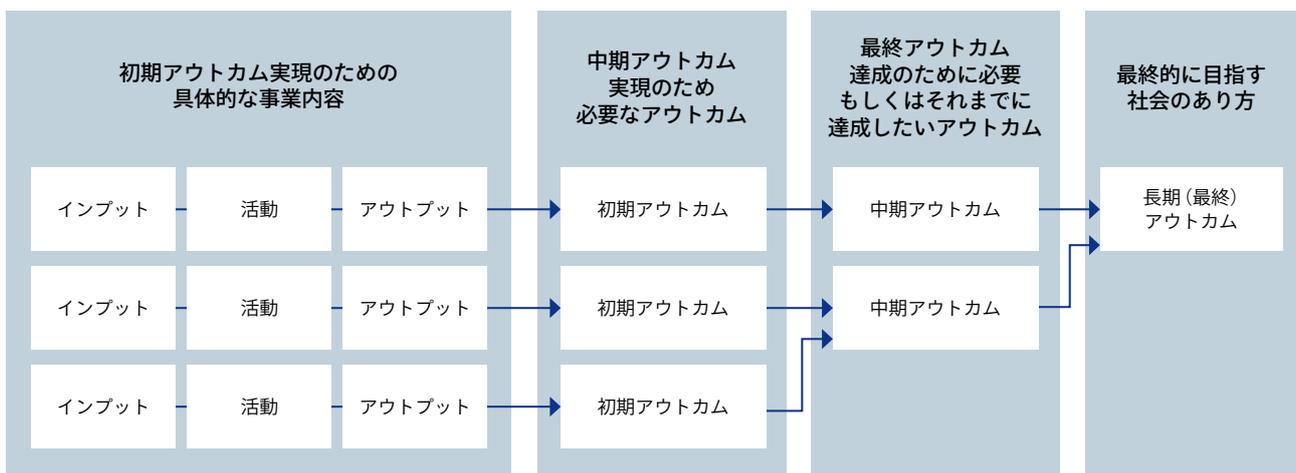
社会的インパクトは、PDCA（継続的な業務の改善効率化）サイクルのなかで評価します。まず当該企業・団体が目指す最終目的（こうあって欲しいと願う未来）を決め、そこに至るまでの戦略をロジックモデルなどのツールを通じて示し、各ポイントでできる限り客観的な評価指標を設定、実施状況をモニタリングします。結果は、分析を通じ今後の運営の意思決定や改善に役立てるとともに、利害関係者らへの報告にも活用していきます。



ロジックモデル

ロジックモデルとは、事業や組織が目指す「こうあって欲しいと願う未来」の実現に向けた道筋を体系的に図示化したもので、事業がどのように目的を達成しようとしているのかを表した仮説もしくは戦略を示すものです。ロジックモデルを構成する「インプット」「活動」「アウトプット」「アウトカム」の4つの要素に当該企業・団体の活動やその成果を当てはめ、整理していきます。こうして事業を俯瞰することで、長期アウトカムに至るにはどのような活動、アウトプットが必要か、実施状況のモニタリングにどのような指標を策定すべきかなどの把握が容易になります。ロジックモデルは外部環境や内部リソースの変化に合わせ、適時見直し、修正を図っていきます。

ロジックモデルの構成



ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンドとは

ファンド概要

ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド (HNF) は、ヘルスケアに特化したベンチャーキャピタル (VC) である「キャピタルメディカ・ベンチャーズ (CMV)」が運営するVCファンドです。世界に先駆けて超高齢社会に直面している日本では、政府による成長戦略「未来投資戦略2017」のなかで、とくに保健福祉分野における企業へのインパクト投資の取り組みを促進させることを目標のひとつとしています。こうした国の方針を背景に、当ファンドは神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア政策の一環で企画されました。

ヘルスケア領域に特化しているのが特徴で、広義のヘルスケア領域 (医療・バイオ・介護・健康・保育・農業・スポーツなど) のシード (事業創成期) からアーリー (事業推進期) のスタートアップ企業を投資対象としており、そのサービスがQDC (Quality=質、Delivery=アクセス、Cost=費用) の点でどのような提供価値があるかを投資基準として重視しています。



名称	ヘルスケア・ニューフロンティア投資事業有限責任組合
出資金額	1,250,000千円
出資者 (県、以下五十音順)	神奈川県、株式会社鹿児島銀行、株式会社神奈川銀行、株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ、株式会社ココカラファイングループ、一般財団法人社会変革推進財団、スルガ銀行株式会社、独立行政法人中小企業基盤整備機構、戸田建設株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社横浜銀行
設立日	2018年3月30日
存続期間	2018年3月30日～2027年12月31日まで (協議のうえ、2年の延長が可能)
投資対象	ヘルスケア分野において社会課題を解決し、同分野を牽引する創業初期のベンチャー企業
無限責任組合 (運営事業者)	株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ



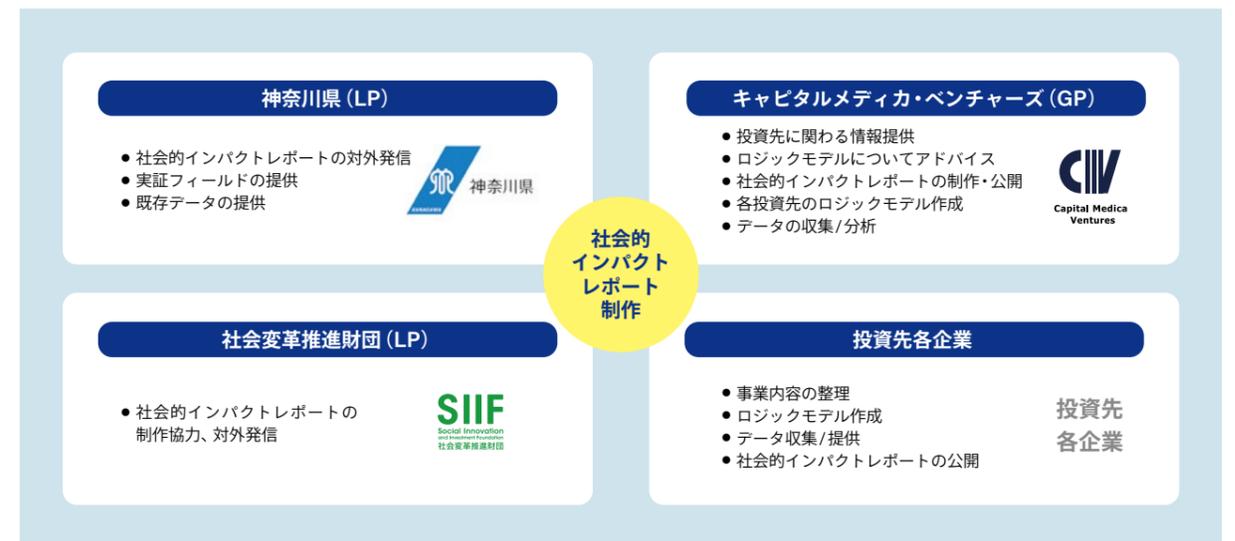
インパクト評価の実施

HNFでは、社会変革推進財団 (SIIF) の協力の下、投資先全企業の社会的インパクトを評価しています。投資先各企業の事業活動が実際にどれほどの社会的インパクトを与えているのか、できる限り客観的に評価し示すことで、当該企業の社会的価値を明らかにするとともに、投資先企業は本活動を通じ、日々の事業活動が、理念として掲げる「最終アウトカム」に沿ったものとなっているかを都度確認し、事業活動の軌道修正を図る手段としても活用しています。

社会的インパクト評価に際しては、神奈川県が実証フィールドや既存データの提供、レポートの対外発信を担い、投資先各企業は同評価に必要な情報を提供。CMVがそれらの情報をもとに、企業が掲げる目標までの道筋を示すロジックモデルの作成やKPIの設定、データの分析方法などについて投資先企業をサポートし、SIIFはCMVの求めに応じてアドバイスをしています。その後、アウトカムの実現状況やその要因を分析し評価、定期的に投資先や出資者とその内容を共有し、当該企業の意思決定や活動の改善に役立てています。評価の内容は年1回、インパクトレポート (本誌) として発行、一般にも公開しています。

本活動は、投資先企業の持続的成長の一助となるだけでなく、この活動を機に社会的な課題の解決に尽力するベンチャー企業への投資の重要性が明らかとなり、より多くの資本がそうした企業に振り分けられることを期待し行われています。

社会的インパクトレポート制作に伴う役割



投資先企業一覧 (五十音順)

- | | | |
|--|---|---|
| アイリス (株)
https://aillis.jp | アドリアカイム (株)
http://www.adriakaim.co.jp | (株) エピグノ
https://www.epigno.jp |
| (株) スマートホスピタル
https://smarthp.co.jp | (株) HACARUS*
https://hacarus.com | (株) ヒューマンアルバ*
https://xn--xsqv9zbnv.com |
| (株) ファーマクラウド
https://www.pharmacloud.co.jp | (株) プラスロボ
https://www.plusrobo.co.jp | (株) MITAS Medical
https://www.mitasmedical.com |
| (株) Rehab for JAPAN
https://rehabforjapan.com | (株) Lily MedTech*
https://www.lilymedtech.com | (株) Rhelixa
https://www.rhelixa.com |
| (株) ワンライフ
https://onelifc-inc.com | *継続モニタリングしておりますが、投資先都合により「投資先紹介」(P11～)には掲載しておりません。 | |

ファンドの成果

ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンドは、2024年12月末現在で以下のような社会的インパクトを創出しています。

<p>インパクト スタートアップ数 21</p> <p>インパクト志向の投資先企業はのべ16社、インパクト起業家育成プログラム（アクセラプログラム）の卒業者は5名となりました。</p>	<p>最終 受益者数 162 万人</p> <p>投資先企業であるインパクトスタートアップの事業活動における最終受益者数は、2023年12月末の103万人からおよそ1.5倍に増加しました。</p>
<p>インパクト キャピタリスト数 2 名</p> <p>投資先に伴走するインパクトキャピタリストの人数は2024年時点で2名でした。</p>	<p>インパクト 雇用者数 701 名</p> <p>投資先であるインパクト志向の企業により雇用されている人は、700名を超えています。</p>
<p>投資先 年平均成長率 173 %</p> <p>2024年における、投資先の売上の年平均成長率は173%となっています。</p>	<p>イグジット数 3</p> <p>これまでノックオンザドア株式会社、株式会社笑美面、Trim株式会社の3社がレスポンシブルイグジットを実現しています。</p>
<p>課題解決の 実践者数 19 名</p> <p>「課題解決実践者」とは、ビジネスによって社会課題の解決に挑む人であって、起業家および同レベルの責任ある立場にあるリーダー（CxOと表現）、そして彼らを支援するキャピタリストです。</p>	

これまでのレスポンシブルイグジット

2022年

ノックオンザドア株式会社の株式を、シミックホールディングス株式会社に譲渡

ノックオンザドア株式会社

ノックオンザドア株式会社はパーパス「難病患者・家族が輝き、自分らしい人生を送れる社会の実現」に向け、中長期アウトカムとして「全国どこにいても、身近に質の高い診療やアドバイスを受けることができる」「治療に必要な新薬がより早く、患者・家族の元に届けられる」を設定。まず、難病や稀少疾患の患者、患者家族を支援するため、発作状況や服薬頻度などを記録・共有できる小児てんかん患者支援アプリケーション「nanacara（ナナカラ）」を提供。さらにドクターが診療時に同アプリの情報を閲覧できる「nanacara for Doctor」、オンライン診療・服薬指導サービス「nana-medi（ナナメディ）」をリリース。

2023年

株式会社笑美面が日本初のインパクトIPOを実現

笑美面

株式会社笑美面は2010年設立。「高齢者が笑顔で居る未来を堅守する」をビジョンに掲げ、「介護家族*にとって、ホーム介護の利用がポジティブ／当たり前になっている状態」を中間ゴールとして、シニアホーム紹介サービスとシニアホーム運営コンサルティングの事業を行う。

*介護家族：介護を必要とする人を、無償でケア・介護する者（家族など）

2024年

Trim株式会社の株式を株式会社INFORICHに譲渡

Trim株式会社

Trim株式会社は、育児・ヘルスケア分野に特化したITサービス会社として、安心して授乳できる環境を十分に整備し、子育てする人々を応援することを目指し、「授乳室不足」の問題に取り組んでいる。Trimが開発した完全個室のベビーケアルーム「mamaro」は、機能性が高く様々な場所に設置可能でありながら、折りたたんだベビーカーも持ち込み可能で、親子でゆったり利用できる広々とした個室となっている。INFORICHとの提携により、早期のグローバル展開が期待されている。